

第 75 回 カトリック召命チーム会合議事録

日時：2019 年 7 月 13 (土) 16:00-

場所：岐部ホール 307 号室

出席者：井手口満師(代表)、松室康彦氏、大木聡氏、Sr. 永田リツ子、鈴木崇代氏、
片岡秀美氏、小池日登美氏、氏家ゆり子氏、柏倉恵造氏、佐々木多嘉男氏

欠席者：大山悟(事務局)、笠井三笠氏、Sr. 松宮るみ子、久慈澄江氏、諏訪由紀子氏、Sr. 荒川佳世子、
藤倉彰三氏、Sr. 小田切智恵子

I. 報告・確認事項

A. HP み言葉コーナーの記事：

従来通り、メンバーが執筆しますが、メンバーが依頼した誰かに執筆していただくことも可能にしました。

8 月 大木さん

9 月 シスター永田さん

10 月 松室さん

11 月 小池さん

II. 議題

1. 前回のシンポジウムの反省・気づいたところ、改善点など
 - 今回は受付に心の病んだ方が、来られていなかったのでスムーズだった。出だしは、良くなかったですが、後から参加者が増えてきた。
 - 分かち合いのグループの方が、一般の方が多かった。なぜ、このシンポジウムにこられたのかわからなかった。どのように、対応すればいいのかわからなかった。
 - 聴覚障害者、韓国籍の方、召命とは的外れの方が多かった。ありのまま感じたままに分かち合っていた。
 - 森司教も大山神父様の話もよかった。
 - 森司教様は何を話されるのかと思った。
 - 分かち合いは、初めての方と短い時間に話し合うことの良さがあった。高齢化の話が深刻に話された。祈るよりも、行動することがいい。
 - 流れがスムーズで、もう慣れてきている。今のままでいい。今年は、去年より少なかった分分かち合いもしやすかった。
 - 分かち合いのグループ分けで、それぞれの島のアルファベットがわかりづらく迷われていた人がいた。次回は、大きなスタンドを作ったらいいのではないか。分かち合いの時には、前もってスタッフが各分かち合いの担当としてグループに入る。A4 くらいの札を持って参加者に知らせてはいいのではないか。
 - 担当者がそれぞれのグループに入るようにする。
 - 次回は、スタンドを教会で借りる。
 - 森司教様と大山神父様との質疑応答がうまくできなかったのもったいない。
 - 質疑応答への準備を工夫する。
 - 受付の方まで講演者の声が聞きづらい。マイクの調整に気をつける。
 - 要約筆記ということも考えられる。
 - 昼食の時に、上智大学の学食への誘導のお知らせをした方がいい。

2. 次回の召命担当者の集い(2日間)・・何について・・テーマ……時期……場所・・

[時期・場所]

- 4月24日(金)～25日(土)仮に決める。決定は、9月の定例会。
- 会場は、ヨセフホールとテレジアホールを確保する。
- 教皇様のメッセージとリンクさせる。

[テーマ]

- イエス様に従っている。全世界を含めて黙想する。使徒的勧告から汲んでみたい。
- 心の支えとなるような修道者を求めるには。

[候補者]

- 菊池大司教
- 阿部神父様(サレジオ会)
- 山野内司教様
- 松浦神父様(東京神学院)
- 白浜司教様
- 小川神父様
- 聖心侍女修道会 シスター深澤

[時間割]

- 24日午前
基調講演
午後からパネルディスカッション
- 25日午前
基調講演
午後からパネルディスカッション
- 大山神父様のスケジュールを確認する。

[内容]

- 超小教区である青年達への同伴者として活動されている、信徒宣教者会パウラさんに話して頂く。
- 若者がどこにいるのかわからない。(青年たちを教会に導くには)
- 青年達の心に響くかどうか。(青年たちに響くメッセージ)
- 召命 キリスト教的な生き方の話。

[企画]

- 企画を考える。
- 次回の定例会までに考えてくる。

3. 今後の、この召命-チームのあり方など。

- 大山神父様の予定を加味して参加していただくように第二土曜日固定しなで、調整してみる。
- ブラザー井手口が大山神父様の予定を確認して出来るだけ大山神父様が参加できる日程を調整する。
- 岐部ホールは、1年間予約しているが、第二週ではなくても空いてる部屋がある。

4. フリートーク

- ゆるしの秘跡で、自分の罪ではなく悩み相談する人が増えた感じがする。昔の方は、司祭と個人的に話すことがないため、ゆるしの秘跡で話すのではないだろうか。
- 若い家族への種まきが必要。
- 10月以降に九州に行くツアーを組みたい。
- 真生会館の講座紹介
- 安楽死について 北里大学で実際にあった骨肉腫にかかった奥さんを殺した旦那さんを学生達が自分たちで裁判までに持っていく。ドキュメンタリー映画の紹介があった。幸福に生きるとはどういうことかを考えさせられた映画であった。検事側は、最後まで生き切ることがいいのではないかと言う見地にたち、弁護側は、身内が苦しむのを見続けるのは辛いと言う見地で進めていた。

- キリスト教的な見地で真剣に生きるということはどのようなことか。
- 緩和ケアがない当時は、やはり身内となると見るのが辛い。

Ⅲ. 今後の予定と大山神父様の予定

- 次回会合：9月14日 第二土曜日 16:00～18:00 307号室
- 大山神父様の予定／2019年 10月12日(養担会議欠席)、11月9日(欠席?)
12月14日(日田黙想欠席)、2020年 1月11日(出席)、2月8日(年度末総括会議欠席)